

接種証明を携行しやすく『抗菌ワクチン手帳』 販売開始から1カ月半で累計出荷 25,000 冊突破！ ～コロナワクチン接種後の体調も記録可能～

青森県内で印刷業を営むアサヒ印刷(本社:青森県弘前市、代表取締役:漆澤知昭)が2021年8月1日(木)より販売を開始した『抗菌ワクチン手帳』が2021年9月15日(水)時点で累計出荷数 25,000 冊を突破いたしました。コロナワクチンの予防接種記録をわかりやすく一括管理でき接種証明を貼り付け、携行しやすく活用できる手帳となっております。



■ウィズコロナに向けて接種証明が必要となることが追い風に！

ワクチン検査パッケージやワクチン接種証明書といった、いわゆるワクチンの接種をしている人を対象としての何等かの割引や特典について、「11月を目途に～」「年内中に～」など政府発表も報道されはじめました。デジタル化を目指しているという中で、アナログな『抗菌ワクチン手帳』なのか、弊社としても参考になりますので購入された方にヒアリングを行いました。すると、

- **割引等だけに使うのではなく、体調管理の履歴もちゃんと残しておきたい**
- バッチやシールといったものよりも『原本』の証明書であるため、偽装の心配も防げる
- アプリはスマホの電源が切れる心配があるが、手帳は電池が切れる心配もなく安心

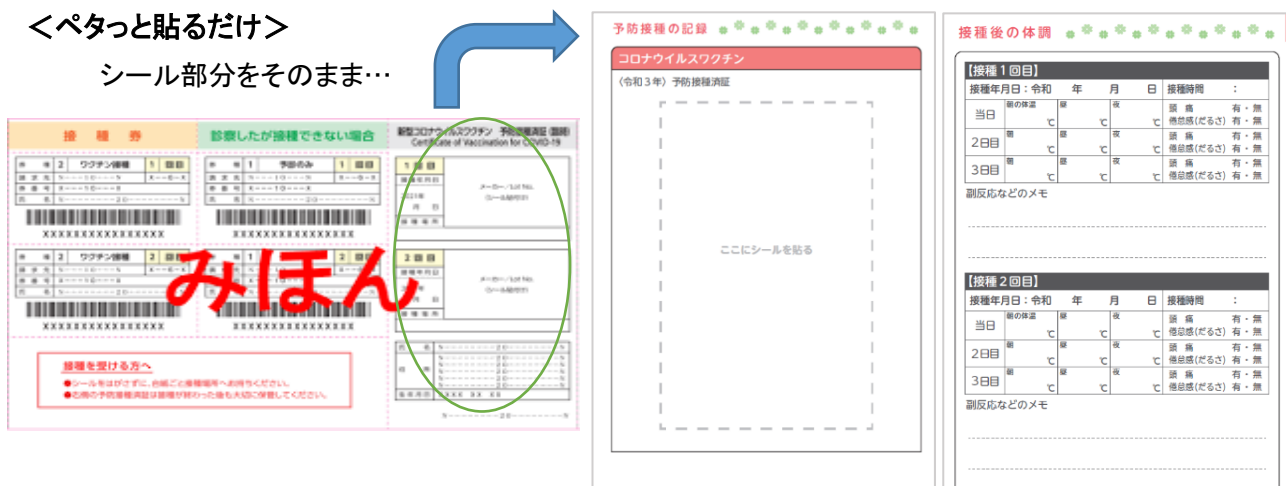
といった今後の接種証明書の利活用を見据え、お客様自身が自分に合った利用方法を模索しているのだという事が判明しました。感染抑止と経済活動再開の両立をお客様が自分で考え、その結果アナログな手帳も、デジタルだけではなく、併用が良いと購入されていることがわかりました。

《接種証明だけでなく、体調管理履歴も残したいというニーズも！》

新型コロナウイルス感染症ワクチンを接種すると、「予防接種済証」という形で接種した経歴がシールタイプで手元に残ります。そのシールを貼り付けると同時に自身に起こった体調の変化、副反応等について記載し記録しておく事で自己管理するために使います。

2回目接種で非常に辛い副反応があった。これから3回目のブースター接種があるかもしれないという中で、接種ワクチンのメーカーを変えて対応する、その他インフルエンザ予防接種との相性はどうか、その時の副反応はどうか？等、今まで購入いただいたお客様から数多くのご自身の身体に何が起こるかわからないから“きちんと記録して把握しておきたい”、“万が一体調を崩した時にも家族にその経過を残して見せたい”、“不純物や異物の混入など予想もしえない自分ではないワクチン側の記録も一括管理したい”などのお声も頂戴するようになりました。

ワクチンは薬と違い、体調、性別、年齢等様々な要因で、接種後に、自分の身体に症状として副反応が起きる場合と起きない場合があります、それは事前に予知できません。だからこそ、貼るだけでなく自分で書いて、記録しておく事が重要だと考えています。



《接種証明・体調管理履歴に加えて、他人を思いやりたい気持ちもニーズに！》

業態によっては、直接お客様に触れ合わないといけないようなサービスを提供している従事者もいらっしゃいます。あくまで自己管理のツールではありますが、ご本人様の接種済みの証明書として、ご本人に開示の意図があれば、接種している旨を自己管理するだけではなく、開示する事で、安心を相互に他の方に与える。そのような使用法も今後は可能になります。

- お店側として、スタッフが「接種している事を提示する事でお客様に安心」してもらいたい
- 遠方から旅行してきた「客側だけでも、宿の方にも接種状況を提示して安心」してもらいたい
- 何かの寄合い・会合に参加するにしても「接種状況を自分から提示して安心」してもらいたい
- 出張(や営業)の際に、相手先にお持ちして、自分からお見せしたら「安心していただけた」

といった「他の皆さんにより不安を与えないようにしたい」気持ち。経済の活性化への活用ももちろん可能ではありますが、そこにはまず日本人らしい他を思いやる気持ちがあることもわかりました。

宿泊・観光業、飲食店、イベント会場、理美容関係、マッサージ施術、化粧品等、直接触れ合う事も想定されるようなサービスを提供する事業において、割引や予約に対する特典、その確認に「ワクチン手帳」を用いる。イベント会場での割引や予約に対する特典、入場に対する特典等にも、ご本人の開示を良しとしていただける方々には、経済活性化の一助としても活用できます。

■ 開発背景

コロナワクチンの接種開始に伴い高齢の方を中心に実際に接種した方からの声として、

- シールを何に貼れば良いのか、どこに貼れば良いのかわからない
- ワクチンをいつ・どこで受けたか、わからなくなる
- 受けた時や翌日等、体に起きた副反応がどのようなものだったか、わからなくなる
- いつ受けたかすぐにみられるような、管理できるツールが欲しいとの声があった

などのちょっとした不安であり、そして実際の管理についての問題が起きているという事でした。

接種した後、自己管理のお手伝いに本手帳が力になれるという事、さらに弊社の保有する、抗菌印刷加工の技術認証を活かして冊子の表紙には抗菌加工を施しておりますので、使用時も、長期の保管についても抗菌印刷加工で、弊社であればお役立ちできる。

本手帳にて、接種者の心配事やちょっとした不安の解消を行うという趣旨だけでなく、ワクチン接種を今後、ふたたびする事になった際に、「前回の接種時の状況はどうだったかな？」などの参考等で、医療従事者の方々にとっても、状況や経緯の把握についてお役立ちになるであろう情報をひとまとめに、一括管理できるように工夫する趣旨でも、この製品が開発されました。

【製品概要】

名称： 『抗菌ワクチン手帳』(全国版)

発売日： 2021年8月2日(月)

価格： 200円(税込)

サイズ： タテ 14.8cm×ヨコ 10.5cm(ハガキ大仕上りの冊子)

中綴じ冊子、総ページ 16 頁、表紙抗菌印刷加工、SIAA 認証マーク付

販売場所： イトヨーカ堂様全国 100 店舗、量販店、コンビニエンスストア、全国の書店など 303 店舗で販売中(https://www.asahiinsatsu.co.jp/vaccine_note_national.html)

直販サイト： 津軽ひろさきマーチング委員会直販サイト <https://www.tsugaru-marching.shop/>

- 特徴：
- ◆おひとり様だと(2回接種一期として)4期分の管理
 - ◆ご家族4人様の一括管理がこの一冊で可能
 - ◆予防接種済証がそのまま貼り付けできます
 - ◆当日、翌日の体温の状況、副反応なども記載しておく事ができます
 - ◆ワクチンが行き届いてきた際には、接種済みの確認※注等にも使えます
 - ◆コロナワクチンだけでなく、インフルエンザ他の接種時の記載も可能です

製品に関するお問い合わせ先： 有限会社アサヒ印刷 TEL:0172-87-1118

【会社概要】

社名： 有限会社アサヒ印刷
本社所在地：青森県大字弘前市青樹町3番地6
代表： 代表取締役社長 漆澤 知昭(ウルシザワ トモアキ)
設立年： 創業/昭和 57 年 11 月 1 日
資本金： 3, 000, 000円
事業内容： 紙製品の印刷を始めとして、水や空気以外の製品に直接印刷する印刷会社
従業員数： 12人
URL： <https://www.asahiinsatsu.co.jp/>

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞

有限会社アサヒ印刷

統括本部 兼 新規事業部 執行役員事業部長 齊藤 元(さいとうはじめ)

TEL:0172-87-1118 直通:080-5842-6809

FAX:0172-87-5109 (受付時間;9:00~18:00)

E-mail: saito-h@asahiinsatsu.co.jp

＜参考資料＞

※注：厚生労働省 HP、新型コロナワクチン Q&A(<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0069.html>)

4-5 行目“申請しなくても、接種会場でシールの貼付と必要事項の記載を受けることで、証明を受けることができます”とあるように接種済み証明書をそのまま貼付し、接種証明そのものを携行しやすくできる手帳です。

厚生労働省 新型コロナワクチンについて

新型コロナワクチンQ&A

出典:厚生労働省HP“ <https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0069.html> ” より

Q ワクチン接種の証明書は発行されますか。

A 接種後、接種を受けた日付・場所と接種したワクチンの情報が記載された接種済証が発行されます。

接種を受けた後、接種を受けた日付・場所と接種したワクチンの情報が記載された接種済証が発行されます。この接種済証を見れば、いつ、どこで、どのワクチンを接種したのかが分かります。

接種済証の発行は、接種券を発行した自治体(住民票のある自治体)が行うものです。接種券の右側に、接種済証の様式が付いていますので、通常は、申請しなくても、接種会場でシールの貼付と必要事項の記載を受けることで、証明を受けることができます。

また、職域接種などで、接種券を持たずに接種を受けた場合には、接種を受けた日付やワクチンの情報を記載した「接種記録書」を受けとることができます。

このほか、海外渡航時に必要な場合には、日本語・英語での接種証明書を、接種券を発行した自治体(住民票のある自治体)において発行しています。発行の申請受付は、7月26日(月)に開始しました。